

健全育成シリーズ

開始にあたつて

青少年が、心身ともに健やかに成長し、広い視野と正しい見識を培い、豊かな情操と高い徳性を磨き、立派な大人に成長することは、私たち市民の共通の願いです。

「青少年のための都留市市民会議」

は、青少年関係の機関・団体とともに青少年の健全育成をめざし、広く市民の関心を喚起して、家庭、学校、地域、職場などのあらゆる分野で、青少年育成の自発的活動の盛り上がりを高めて行くことを目標として、青少年育成市民運動を展開しています。

平成元年十一月から今年四月まで一年半にわたり、「家庭の日」おりを毎月全世帯に配付して、その実践の啓発に努めてきました。

今月から、幼稚園、保育園、小学校の先生方、学識経験者の皆さまのご協力をいただき、広報を通じて、「健全育成シリーズ」で市民総参加の青少年健全育成運動を進めていくことにしました。

ご意見等を事務局にお寄せください。さるようお願いします。

事務局 文化会館内 中央公民館
☎ 43-1321 内線42・43

健全育成シリーズ(1)

夏休みの生活指導

「望ましいす」し方は――



ファミコンに熱中する子ども、せっせと塾に通う子ども、今の子どもの夏休みは、ひところ前とは大きく変化しているのだろうか。それとも、むかしながらの子どもの世界はあるのだろうか。

子どもたちは、夏休みに対する意識を持つているのだろうか。そうした疑問に対しても、子どもたちに、たずねてみました。

「夏休みにやりたいことは何?」

「プールで泳ぎたい」

「海に行きたい」

「旅行をしたい」

などという答えが返ってきました。

子どもたちの夏休みの意識は都市も農村も大きな違いはないようです。マスコミ文化の影響を反映し、くわえて昨今の教育過熱時代と言われる中で子どもたちにとって望ましい夏休みとはどんなものかという問題と一緒に考えてみましょう。

夏休みは小中学生の場合四十日間あります。その四十日間をどう

過ごしたらよいのでしょうか。

やや乱暴な言い方ですが、ひとことで言うと「夏休みでなければできないことをやつてみる」といふことにつきると思います。

少し長くなりますが次のような文章を紹介してみます。

「夏休みがはじまる第一日の朝、この日だけは、寝坊をしないで、すずしいうちに机の前にすわり、さて――『さて』と、声を出し

ても出さないでもよろしいとにかく、『夏休みに何をしてやろうかな』と考へてみたまえ。何でもよろしい。とにかく一年いちど夏休みでなければできそうもないことを考へること――そして一つでも二つでも、いや十でも二十でも遠慮はいらない。しっかりと紙とかノートにそれを書いてみたまえ。書いたら、『よし、これだけはしてやるぞ』と、これも口に出しても出さないでもよろしい。はつきりと自分に言つてきかす。……勉強のことでも、遊ぶことでも、なまづきをきつかけに、都留に帰つてきても、八朔inつるでの発表をはじめ一緒に踊つたり太鼓をたたいたり、という仲間になれたら、と思つています。参加してみたいと思つています。参加してみたい方はご連絡ください。

小学校三年生が、カイワレ大根を蒔いて芽が出て毎日明るい方へ向くことを確かめ、母親に、「お母さん、カイワレ大根は本当に美味しい方が好きなんだよ。ぼく発見しました。」と言いました。

夏休みいっぽいかかり彼は、本当に小さなことだけれども自分の力で発見したのです。いい夏休みだったなと感心したことがありま

にならぬことがわかれれば、それだけ前よりはかしこくなつたわけだから。「〔ポプラ社『人間の尊さを守ろう』(吉野源三郎)〕

この文章は、戦前に書かれたものだそうです。今の時点でもすこし古く感じません。

夏休みにしかできないこと、たとえば、第一にからだを鍛えること。水泳、山のぼり、ボーゲー運動などをやって、とにかく体力をつけさせたい。また、思いきり遊ぶこともあってよいと思います。

第二は、見聞を広めるということと旅行や行楽、鑑賞などです。

第三が、学習ということになります。長い物語を読んだり、自分が興味や関心を持っている問題についての研究をまとめてよい。

人によつては、苦手な教科の復習もよいかも知れません。

夏休みの目標は、単純で集中的なものがよいと思います。その目標が生活や個人の必要に応じた切実なものであることが、どの場合も大切なことです。

私たち八朔inつる91のメンバーは、太鼓や踊りを習いに田楽座夏の教室に一緒に参加する仲間を探しています。体を動かし、心をふるわせる、そんな夏の日を過ごしてみませんか?

これをきっかけに、都留に帰つてきても、八朔inつるでの発表をはじめ一緒に踊つたり太鼓をたたいたり、という仲間になれたら、



事務局からのお知らせ

八朔inつる 91

コースにより演目が少しづつ変わります。

日 時 (4コース)

(1) 7月23・24日

(2) 7月26・27・28日

(3) 8月10・11日

(4) 8月13・14日